

経常的研究交流委員会企画シンポジウム

11月28日(土)15:30～17:30

講義棟4階4602講義室

認知と感情,そしてパーソナリティ

話題提供者 堀内 孝(岡山大学)
自伝的記憶想起と抑うつ・離人感に関する研究
村上 裕樹(名古屋大学)
脳灰白質の個人差とマインドフル(感情制御)に関する研究
青林 唯(千葉大学)
実行機能と感情制御に関する研究

指定討論者 杉森伸吉(東京学芸大学)

司会 森津太子(放送大学)

概要

「あの人はあかるい」「彼は神経質だ」といったような特徴のことを、我々は「性格」とか「パーソナリティ」という。このようなパーソナリティはある人の特徴を表すには分かりやすく、またより幅広く行動なども予測できるかもしれない。一方で、心理学に数多くの領域があるように、パーソナリティ以外の心の働きにも様々な個人差があり、様々な面で行動に影響しているだろう。

では、そうした働きはどのように行動やパーソナリティと関わるのだろうか。パーソナリティ心理学でも、認知や感情といった内的過程の影響は古くから議論されてきた。しかし、認知や感情が個人の中でどのように働き、「その人らしい」行動にどのようにつながるのか、結論を出すことは難しい。本シンポジウムでは認知心理学や感情心理学の諸領域と、パーソナリティ心理学との関わりについて考えてみたい。登壇者の先生方には、認知、感情の影響に関する研究をご紹介していただき、フロア・指定討論の先生方とともに認知・感情といった内的過程と、パーソナリティ・個人差との関係を議論していきたい。